

企業景況・動向調査

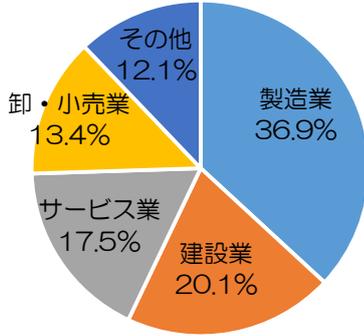
●はじめに

取引先を対象に、当地区企業の景況・動向調査を目的としたアンケートを実施した。概要は以下の通り。

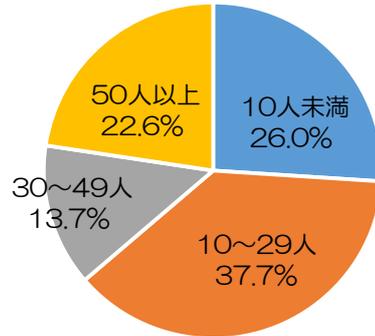
●調査概要

調査時期 : 令和7年1月20日(月)
 調査対象 : せいしんビジネスクラブ会員
 回答数 : 対象企業数 179社 回答数 149社 有効回答率 : 83.2%

《業種内訳 (n=149)》



《従業員規模内訳 (n=146)》



●要旨

2025年上半期は、売上・利益の改善が進む見通し

人手不足感は依然として強いが、人材確保に向けた「人件費の上昇」を懸念する企業が急増しており、経営への影響が危惧される

◆ 売上高実績と見通しについて

- 売上高実績(2024年7月~12月)は、「増加」が33.8%、「減少」は19.6%となった。
- 売上高見通し(2025年1月~6月)は、「増加」34.2%に対し、「減少」13.4%と、増加が20.8ポイント上回った。

◆ 経常利益実績と見通しについて

- 経常利益実績(2024年7月~12月)は、「黒字」が78.2%となった。
- 経常利益見通し(2025年1月~6月)は、「黒字」が83.6%と、現状を上回る見通しとなった。

◆ 雇用状況・採用予定について

- 現在の雇用状況は、「過剰」が8.2%、「適正」が38.1%に対し、「不足」が53.7%と過半数を超えた。
- 採用については、新卒採用の予定がある企業が23.8%に対し、中途採用の予定がある企業が45.5%と、多くの企業が「中途採用」に力を入れていることが窺える。

◆ 設備投資について

- 現在の設備状況は、「適正」が半数を超える一方、「不足(36.5%)」が「過剰(4.7%)」を上回っており、設備投資の必要性を感じている企業は依然として多い。

◆ 今後の懸念材料について

- 「人材の確保」が61.7%で最多となり、次いで「人材の育成」(53.0%)、「人件費の上昇」(46.3%)の順となり、「人」に関する項目が最も懸念されている。特に、人件費の上昇は、前回調査から9.8ポイント上昇しており、懸念を高めている様子が窺える。

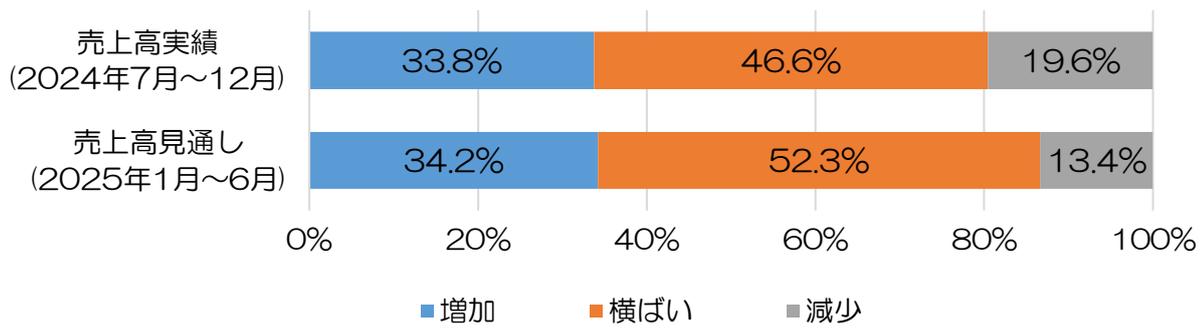
◆ 2025年において重視する経営課題について

- 重視する経営課題は、「人材の確保・育成」67.1%、「新規顧客・販路の開拓」38.9%、「コスト削減・業務効率化」32.2%の順となった。前回調査と比較して「賃上げ」が6.2ポイント増加するなど、給料面の改善を通じて、人材確保に取り組む企業が増加する見通し。

※本アンケートの数値は小数点第二位を四捨五入しております。

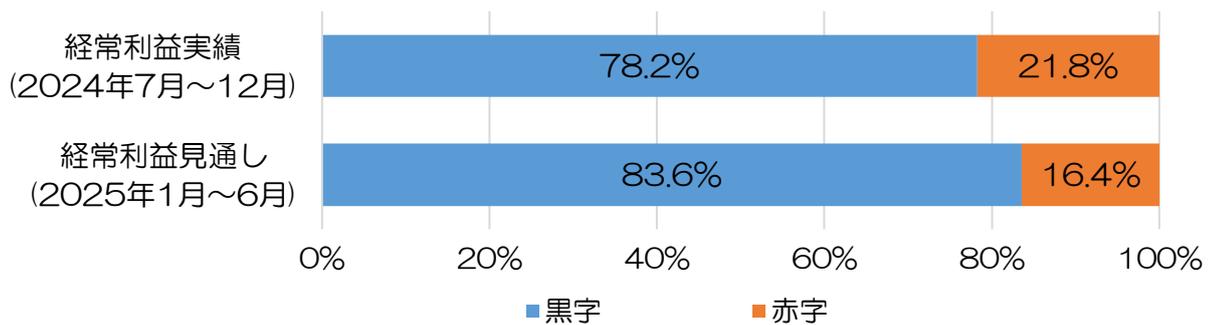
Copyright (C) 2025 THE SEISHIN SHINKIN BANK. All Rights Reserved.

1. 売上高実績と今後の見通しについて (SA)



売上高実績と今後の見通しについて尋ねたところ、2024年7月~12月の売上高実績（2024年1月~6月対比）は、「横ばい」（46.6%）が最多となり、次いで「増加」（33.8%）となった。2025年1月~6月の見通しについては、「増加」が34.2%と0.4ポイント、「横ばい」が52.3%と5.7ポイント上昇し、「減少」（13.4%）と6.2ポイント低下した。

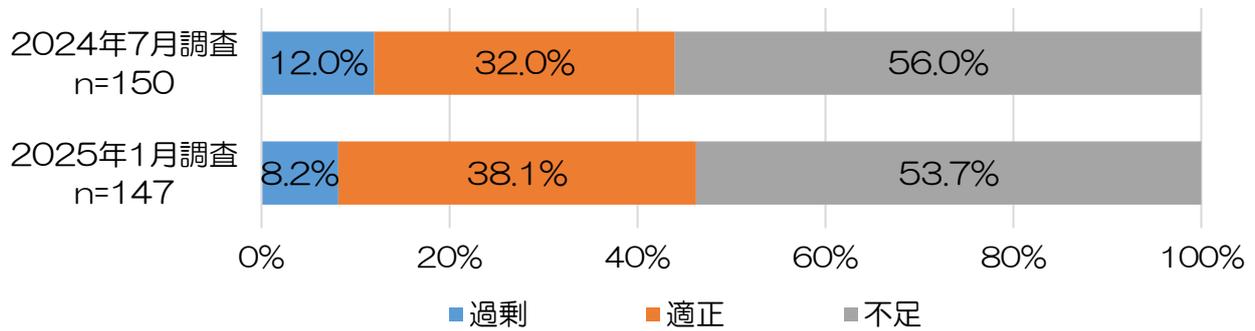
2. 経常利益実績と今後の見通しについて (SA)



経常利益実績と今後の見通しについて尋ねたところ、2024年7月~12月実績は、「黒字」が78.2%となった。2025年1月~6月の見通しについては、「黒字」が83.6%と、実績を5.4ポイント上回った。

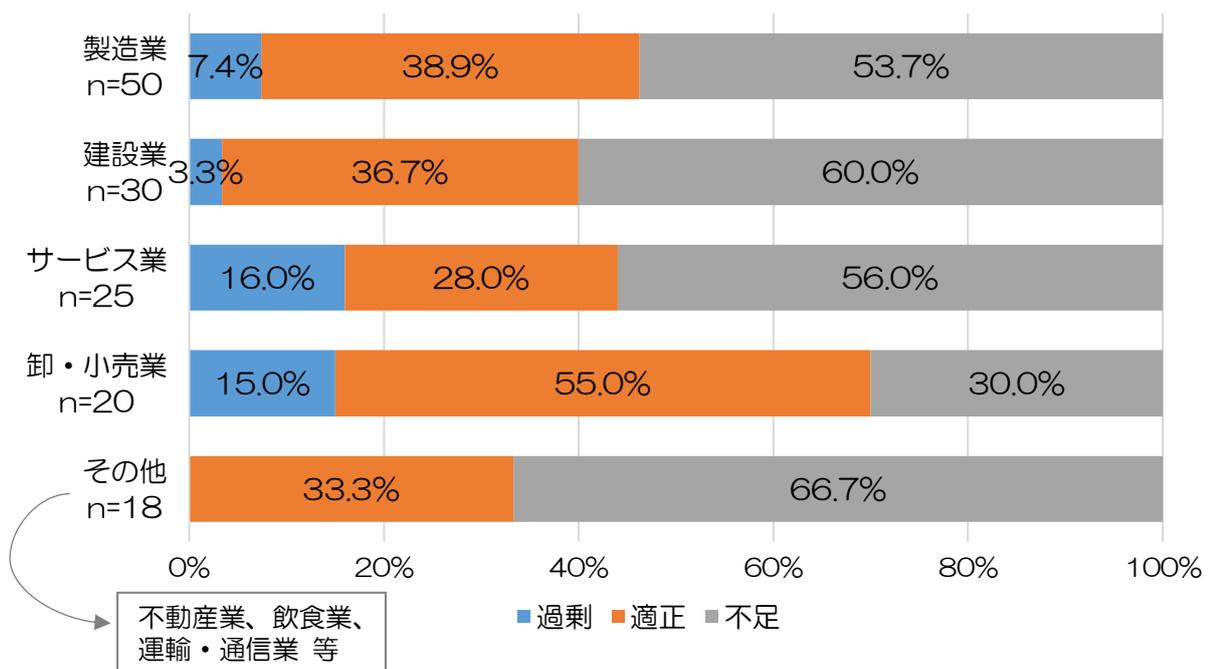
3. 雇用状況について

3-1. 現在の雇用状況について (SA)



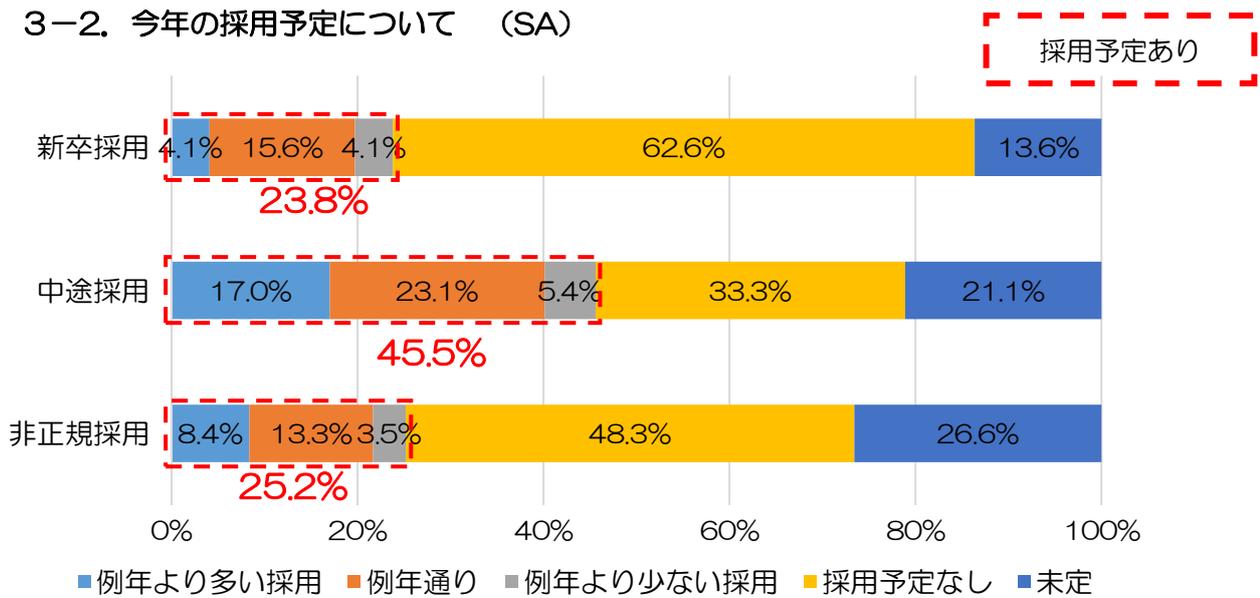
現在の雇用状況を尋ねたところ、「不足」が53.7%で最多となり、次いで「適正」(38.1%)、「過剰」(8.2%)となった。前回調査より、「不足」は2.3ポイント低下しているものの、依然として半数を超える先が人手不足を感じている。

【業種別】現在の雇用状況について



現在の雇用状況を業種別に見ると、製造業、建設業、サービス業、その他で「不足」が最多となった。一方で、卸・小売業は「適正」が55.0%で最多となり、「不足」は30.0%に留まるなど、業種によって雇用状況には差があることが分かる。

3-2. 今年の採用予定について (SA)



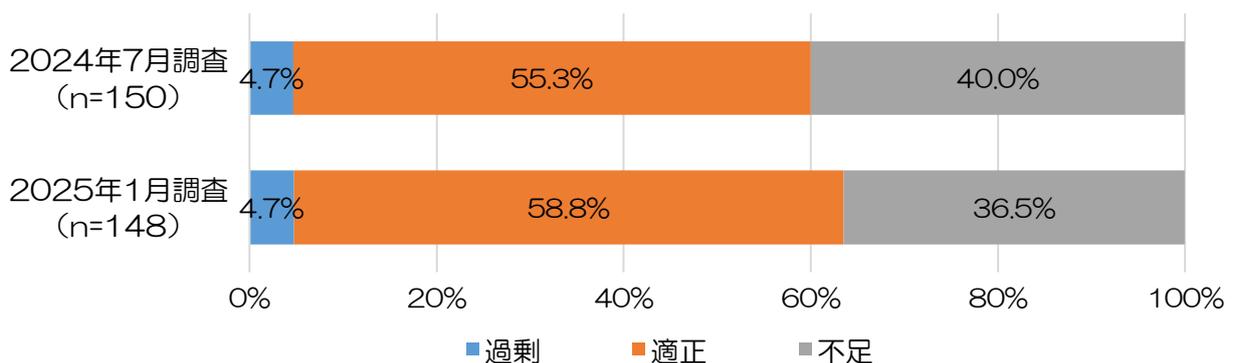
今後の採用予定について尋ねたところ、新卒採用については、「採用予定なし」が62.6%で最多となり、次いで「例年通り」(15.6%)、「未定」(13.6%)となった。

中途採用については「採用予定なし」が33.3%で最多となり、次いで「例年通り」(23.1%)、「未定」(21.1%)となった。採用予定がある企業(「例年より多い採用」、「例年通り」、「例年より少ない採用」の合計)が45.5%と、新卒採用(23.8%)に比べ高く、多くの企業が「中途採用」に力を注いでいることが窺える。

非正規採用については「採用予定なし」が48.3%で最多となり、次いで「未定」(26.6%)、「例年通り」(13.3%)となっている。

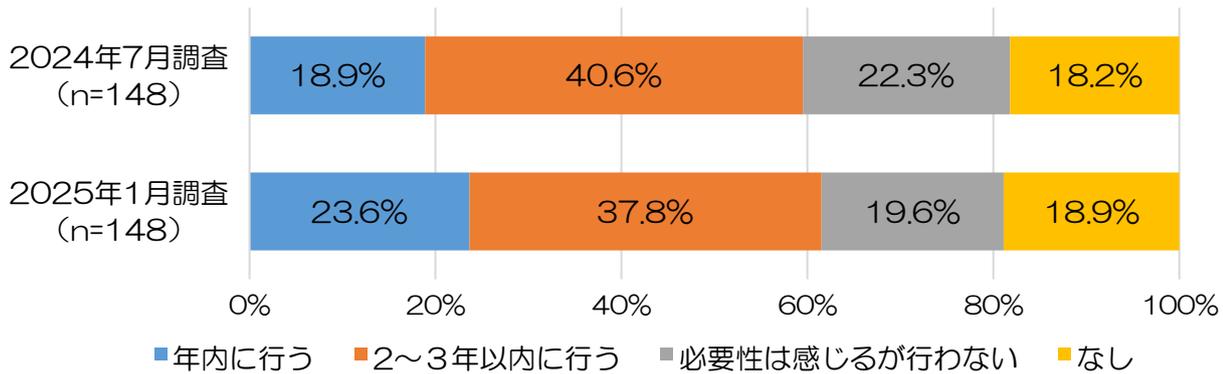
4. 設備投資について

4-1. 現在の設備状況について (SA)



現在の設備状況について尋ねたところ、「適正」が58.8%で最多となり、次いで「不足」(36.5%)となった。「適正」が半数を超える一方、「不足」が「过剩(4.7%)」を大きく上回っており、設備投資の必要性を感じている企業は依然として多い。

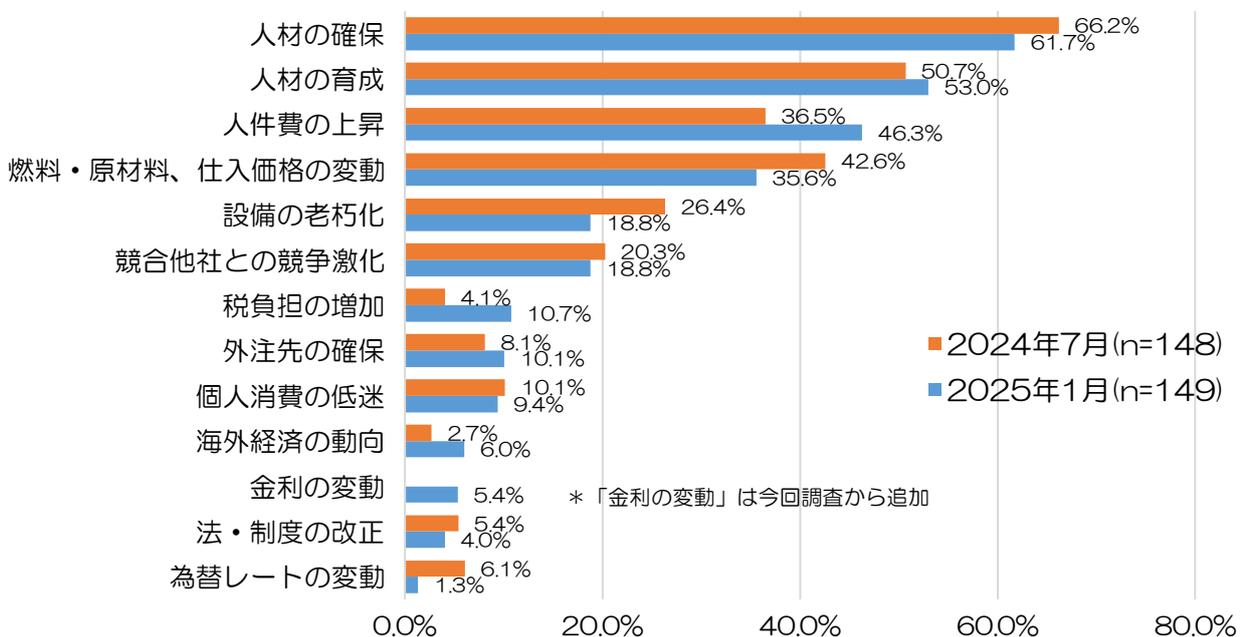
4-2. 今後の設備投資の予定について (SA)



今後の設備投資の予定について尋ねたところ、「年内に行う」は23.6%と、前回調査から4.7ポイント上昇し、「2~3年以内に行う」は37.8%と2.8ポイント低下した。

設備投資意欲のある先（「年内に行う」、「2~3年以内に行う」の合計）は61.4%と、前問の「4-1. 現在の設備状況について」で「不足(36.5%)」と回答した企業を上回っており、「適正(58.8%)」な企業でも、更なる設備投資を検討していることが窺える。

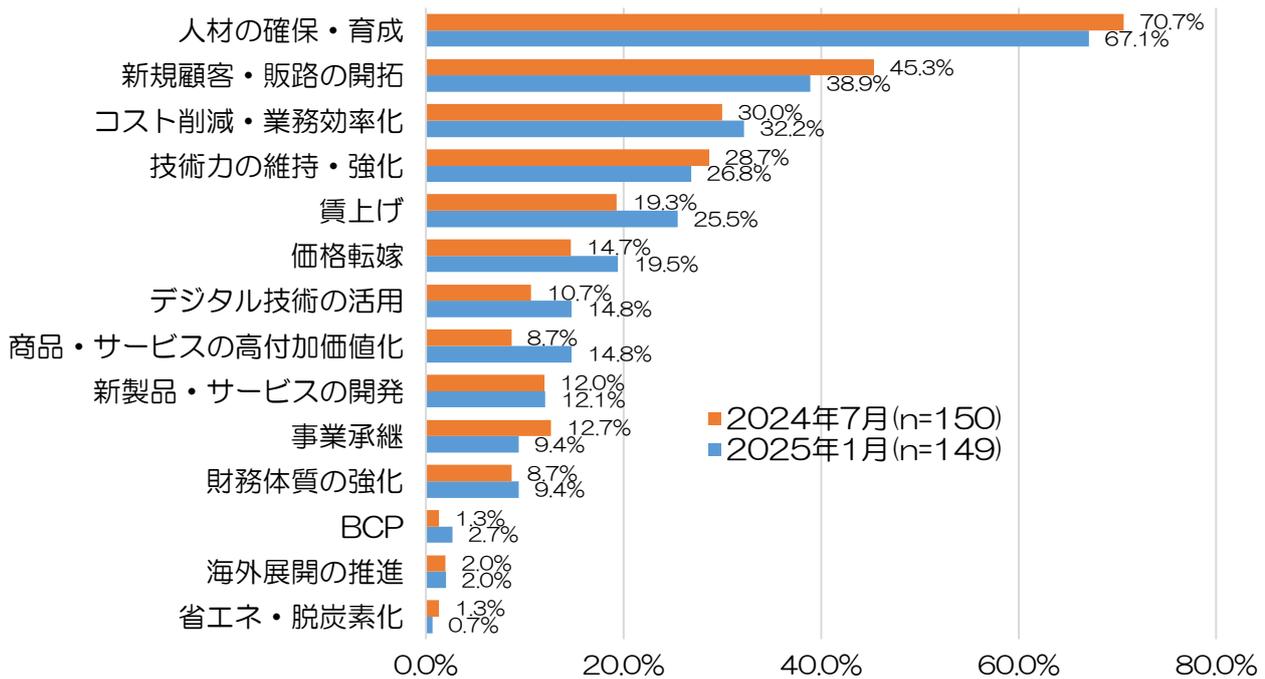
5. 今後の懸念材料について (MA 3つまで、n=149)



今後の懸念材料について尋ねたところ、「人材の確保」が61.7%で最多となり、次いで「人材の育成」(53.0%)、「人件費の上昇」(46.3%)の順となった。

人材の確保・育成、人件費の上昇など、「人」に関する項目が最も懸念されている。特に、人件費の上昇は、前回調査から9.8ポイント上昇しており、懸念を高めている様子が窺える。

6. 2025年において重視する経営課題について（MA 3つまで、n=149）



2025年に重視する経営課題を尋ねたところ、「人材の確保・育成」が67.1%となり、次いで「新規顧客・販路の開拓」が38.9%、「コスト削減・業務効率化」が32.2%の順となった。7割近い企業が人材に関する課題を挙げ、2024年7月調査と比較して「賃上げ」が6.2ポイント増加するなど、給料面の改善を通じて、人材確保に取り組む企業が増加しそうだ。

以上

（静清信用金庫 経営相談部 令和7年1月作成）